ご接見の栄に浴して

2面からの続き

群馬県高崎市　河野　純夫

令和二年以来、中止になっていた秋篠宮皇嗣殿下ご接見の栄に浴することができましたこと、心より御礼と感謝申し上げます。

真夏日を思わせる秋晴れの日に、全国から推薦された方々が明治記念館に集合、記念撮影後会食し、休憩の後、バスで赤坂東邸へ向かい約十分で到着。十四時、優しい笑みを浮かべられて秋篠宮皇嗣殿下がお見えになり励ましのお言葉を賜りました。この後、殿下は、善行者一人ひとりから、今までの活動などをお聞きされるとともに、お言葉をかけられました。私の自己紹介では出身地と氏名を申し上げ、体育指導員として地域の人々にスポーツの普及と青少年健全育成推進員として活動、現在は地域づくり活動協議会で地域の方々が安心安全で幸せな生活が得られることを願う活動しております旨申し上げました。殿下より「これからも続けて下さい」とお言葉をいただきました。今後も、身の周りでお役に立てる活動をしていこうと心に刻みました。

静岡県御殿場市　安井　彦一

この度、秋篠宮皇嗣殿下ご接見の栄を賜りました事心より感謝申し上げます。

明治記念館での会食、記念撮影の後、赤坂東邸へバスで向いました。会場では皇嗣殿下が入場され一人ひとりにお言葉をかけられ、「どちらから来られましたか」とおたずねになられました。私が「御殿場からです」とお答えしました。「御殿場は寒いですね。お体に気をつけて」とお言葉をいただきました。当日は富士山も快晴で今日の良き日を祝っているようでした。私は地域の子供たちの安全な登校と見守る活動をしております。これからもこのようなボランティアを続けていきたいと思います。このような機会を与えて下さり感謝申し上げます。ありがとうございました。

支部だより

東久留米支部発足

設立総会を開催

令和五年九月十日に設立総会を開催し、一般社団法人日本善行会東久留米支部として、野島武夫支部長を中心に十名の会員でスタートしました。

従前より、渋谷区支部、隣接する西東京支部などの活発な活動を拝見してきました。東久留米市においても善行精神を普及、善行実践活動を通じて明るく住みよい社会環境づくりを目指し、小さなスタートではありますが、会員の輪を広げていこうと誓い合いました。

今後とも、本部並びに各支部の皆様のご指導ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

岩手県支部

交通安全祈願千羽鶴

九月二一日より、九月三十日までの十日間の日程で秋の全国交通安全運動が実施されました。盛岡市都南地区では、秋の交通安全運動に伴い、都南総合支所より、九月二五日地区管内交通安全事故防止活動を実施しますので「交通安全祈願千羽鶴」の提供をと要請をいただき、総合支所（支所長）のご指導・指示によりまして交通安全事故防止活動に参加しました。活動の拠点は東北在来線・岩手飯岡駅前です。

見前幹部交番所、交通安全指導隊、総合支所、善行会県支部の六機関提携で、交番所所長、交通安全会長の挨拶後、善行会より「交通安全祈願千羽鶴」が贈呈されて、交通安全の実施・通勤通学で電車の乗降者、自転車乗り者等・徒歩での小中、高生等地域住民にも交通安全を呼びかけながら、ティッシュ（黄色い羽根チラシ入り）を配布し爽やかな朝のひと時を・皆さんと交通安全防止活動に精進しました。

東京都新宿支部

第二十二回善行会杯サッカー大会 前半戦に四千名来場

九月から始まった「善行会杯小学生サッカー大会」は今年は二十九チームの参加です。

新宿区少年サッカー連盟と協力した小学生低学年大会も今年で二十二年になりました。

長年継続してきた善行会杯は、予選四日間で延べ四千人以上が来場し大型大会と言って良いほどに善行会杯は大人気となってます。

六人対六人のフットサルで真新しい人工芝グランドでプレーをして、ご家族の応援が熱かったです。

低学年は体格差もない為に男女混合チームになり、ご家族の応援する明るい声に、この雰囲気が自然の姿だと思いました。

現在も新型コロナ感染予防対策は欠かさずに握手やハイタッチも禁止で両チームの挨拶の仕方も以前とは変わりました。

新宿区サッカー連盟の関係者・レフリーの青少年育成には頭が下がります。十月は決勝トーナメントになり優勝チームには日本善行会新宿支部長からトロフィーが手渡されます。全国の会員皆様応援よろしくお願い致します。

（善行会杯・中学生新人戦サッカー大会は令和五年十一月から始まります。）

大分県大分支部

交通安全功労団体として感謝状受賞と秋の全国交通安全運動への参加

秋の全国交通安全運動が令和五年九月二十一日から九月三十日までの間実施された。大分支部は九月二十七日十四時から大分市中心部の昭和通り交差点で実施。参加者の半数以上が、自宅から一〇㎞以上もある会場に参加して下さる事に、本当に感謝です。予定の時間となり支部長挨拶、挨拶の最後に、「信号機や横断歩道等、規則を守っても安全ではありません。何故なら運転しているのは人だからです」必ず再確認をして安全を確保しましょう。皆さんはそれぞれの場所に移動しました。この交差点は交通量の多い交差点で安全に気を配りながら「のぼり旗」を持って啓発活動をしました。残暑の厳しい状況でしたが、約三十分間ですが、無事終了しました。

参加者全員七十歳以上で帰宅までが心配です。翌日二十八日大分中央警察署に於いて功労団体三団体の内、日本善行会大分支部が表彰されました。大分支部では十五年前（平成二十年）からの取り組みでその活動が評価されたものと思います。地道で諦めないのは善行会の真骨頂です。この様な善行会精神を各分野（推薦書の活動種別）に活かしていきたいと思っています。

長崎県佐世保支部

令和五年度総会並びに表彰伝達式の開催

令和五年十月一日（日）午後一時からレオプラザホテル佐世保において新会員三名を含む四十二名の出席のもと開催しました。

集合写真を撮り終えた後、日本善行会の歌を出席者全員で歌い、宮原公平副支部長の開催挨拶で濱武常務理事兼支部長が挨拶、善行受賞者へのお祝いの言葉と関係者への協力に関し感謝の挨拶があり、続いて来賓の外間雅博長崎県議会議員から善行活動の歴史と継続のすばらしさに敬意を表し感謝と励ましの言葉をいただきました。続いて勝野堅介日本善行会会長からの祝電が披露され、表彰伝達式に移り、支部長のお祝いの言葉と共に受賞者六名一人ひとりに表彰状と善行章が手渡されました。受賞者を代表し金章の川原清俊様が謝辞を述べられました。その後議事に移り事業報告令和五年度事業計画と予算案が提出され議案が承認され総会は無事に終了しました。次に祝賀懇親会に移りました。小野原茂市議会議員の乾杯の音頭で祝宴に入り日頃の善行活動等和やかに意見、交換され舞台では出演者が多く盛り上がり、時のたつのが早く感じられ最後に万歳三唱を古賀良一教育会会長がいたしました。

善行会総会の開催によって会員の皆様に善行会表彰の意義と使命感が改めてご理解いただけたものと感じました。